

平成25年度 第2回学校協議会 記録

日時：平成25年11月1日（金）15：40～17：05

場所：本校 高等部棟2階 図書室

参加者：学校協議会委員 花園大学 社会福祉学部教授 小谷裕実 様
ハローワーク門真 中尾紀子 様
社会福祉法人一粒のからし種 グレース工房 理事長
福田章男 様
本校校医 森口久子 様
本校PTA会長 桑原礼子 様
学校協議会事務局 白木原校長 中西教頭 石原教頭
佐野高等部主事 室田小学部主事 山本中学部主事
各分掌部長 医療的ケア安全委員長

- 1 学校長挨拶
- 2 学校協議会委員紹介、事務局紹介
- 3 会長挨拶 小谷様
- 4 今年度の学校経営計画の進捗状況について 校長及び各分掌長より発表

《質疑応答・提言》

○医ケアが必要な児童・生徒とは、どのような方がいるのか？また何名いるのか？→ 経鼻経管栄養、気管カニューレからの吸引、薬液吸入、酸素吸入など、5項目6行為すべてにわたっている。全校で9名。

○大規模災害マニュアルについて

門真市の係りの方では福祉避難所は考えていないと話があった。私たちの福祉施設がならざるを得ないかとも考えているが、福祉避難所として学校を開放されるのかどうか。→備蓄の保存場所も含めスペースの問題、本校児童生徒への対応を考えると、現時点では難しいと考えている。大規模災害発生時には洪水や火災、交通網の混乱等も予想されるため、本校ではPTAと協力して全生徒が1日宿泊できる条件整備を進めている。

○市別連絡会議、守口・門真支援教育推進連携会議の違い説明

→市別連絡会議は学校と地域の関係諸機関が連携して児童生徒の情報共有を行っている。守口・門真支援教育連携推進会議は個別の教育支援計画の充実を図り、地域2市の支援教育をより良いものにしていくという目的達成のため、コーディネーター、リーディングスタッフ、通級の先生や教育機関の先生が集まり相談・協議を行っている。

○進路指導部就労継続支援B型に係る支給決定をする機関は学校にありますか？ →審査会は各市で行われています。学校は依頼を受け、今までの学習もしくは実習の経緯を踏まえて、なぜその子にB型が利用が必要なのかという意見書を出しています。

5 授業アンケートの結果について

- ・生徒用の質問は、中学部以降で答えることができる生徒は答えてもらっている。
- ・今後は、保護者と生徒別の比較や全体の相関関係を調べていこうと考えている。

6 学校教育自己診断について

- ・資料をもとに結果の説明を行う。
- ・保護者用 38・39番の質問項目は、昨年度との比較のため残す方向で考えている。 委員より38番39番の発問について提言を受ける。